

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

☆最初のISS構成要素打上げから1950日経過しました

☆第8次長期滞在クルーのISS滞在は155日経過しました

☆ISS動向

第8次長期滞在クルーのマイケル・フォールとアレクサンダー・カレリ両宇宙飛行士は、生物医学実験を実施するとともに、先週に引き続きエレクトロン(酸素発生装置)の修理を行っています。エレクトロンは運転開始後数分で停止してしまう状況でした。この不具合の原因としては、電気分解の過程で生じる水酸化カリウム電解質の粒子が液体ユニット内に気泡を発生させるため、シャットダウンを繰り返すという見方が、最も有力視されています。両宇宙飛行士は、エレクトロンの液体ユニットと水供給ラインの交換を実施しました。エレクトロンが故障している間、3月12日から1日平均2個のロシア製の酸素生成キャニスターを使用していました。

さらに19日に、フォール宇宙飛行士は「ディスティニー」(米国実験棟)の観測窓の空気漏れ点検を行いました。内側ガラスのひとつに空気漏れが見つかりましたが、ISSの運用には問題ありません。

☆第9次長期滞在クルー・パッチ公開

NASAは第9次長期滞在クルー・パッチを公開しました。イラストの中心は、ソユーズロケットと白頭鷲(アメリカの国鳥)でローマ数字のIX(9)をイメージしています。これは米ロの宇宙開発におけるパートナーシップを象徴しています。

ソユーズロケットとXの間の星は、ISSでの研究は月、火星とそのさらに先を目指す人類の探求の第1歩であることを表し、そこに向かって飛ぶ翼の上の星は、米ロの宇宙飛行士を称え、人類の宇宙飛行への情熱を表します。

第9次長期滞在クルーのゲナディ・パダルカ宇宙飛行士(ロシア)とマイケル・フィンク宇宙飛行士(NASA)は、短期滞在クルーのアンドレ・カイパース宇宙飛行士(欧州宇宙機関)と共に、4月にISSへ向かう予定です。



地上と交信しながらトレッドミルの制振装置の部品を交換するフォール宇宙飛行士



第9次長期滞在クルー・パッチ

“スペースシャトル飛行再開に向けて”

☆スペースシャトル各オービタの現状

今週のスペースシャトル各オービタの状況についてケネディ宇宙センターからの最新情報をお知らせします。

機体名	状況	
ディスカバリー号 (OV-103)	<ul style="list-style-type: none"> ・スペースシャトル飛行再開ミッション(STS-114)に向け準備中。 ・ギアが逆方向に設置されていた2番目のアクチュエーターは、6週後に製造元より返却される予定。 ・ボディ・ラップを3月12日に設置。 ・15日に左翼左翼前縁部に最初のRCCパネル^(※)を取り付け。 ・14日より2週間の電気配線試験を開始。 <p>(※) RCCパネル: 熱防護用の強化炭素複合材パネル (写真: RCCパネル取付)</p>	
アトランティス号 (OV-104)	<ul style="list-style-type: none"> ・ISSへの飛行に備えて準備中。 ・垂直尾翼のアクチュエーターの取り外し準備を継続中。 ・左翼前縁側部に13のTシール(各RCCパネル間の保護パネル。断面がT型)を設置。 ・右翼RCCパネルと関連取り付け具の強化を継続中。 (写真: Tシール取付) 	
エンデバー号 (OV-105)	・2003年12月からのオーバーホール実施中。	

“お知らせ”

☆日本科学未来館春のイベント

日本科学未来館では今年も春のボランティアイベントとして、科学好きのボランティアによるイベントを企画、開催します。そのひとつとして、「宇宙クイズオリンピック2004」をご紹介します。

●クイズをしながら宇宙がわかる! 受付でクイズ用紙を配布するので、「地球コース」「火星コース」の2種類のクイズを選んで解いてください。クイズはそれぞれ7問あります。宇宙居住棟(5階)にいるボランティアにヒントをもらってクイズを解き、参加賞をもらおう!

■開催日時: 3月27日(土)、28日(日) 午前10時~午後5時

■開催場所: 日本科学未来館 1階 400インチディスプレイゾーン

■参加費: 入館料のみ(大人 500円/18才以下 200円) ※但し、土曜日は一般・団体とも18才以下は無料

詳しくは、<http://www.miraikan.jst.go.jp/event/report/184.html>をご覧下さい。



未来館に展示されている宇宙居住棟

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター TEL: 029-868-3074

ISS・きぼうホームページ <http://iss.sfo.jaxa.jp/> Eメール kibo-koho@jaxa.jp

※「ISS・きぼう ウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本 ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。

